

平成24年度教育研究活動報告書

氏 名	藤岩 秀樹	所 属	経済情報学部 経済情報学科
学 位	修士（体育学）	職 位	准教授
専門分野	体育学		
I 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	基礎演習Ⅰ、健康スポーツ学、健康スポーツ実習Ⅰ、健康スポーツ実習Ⅱ、野外スポーツ実習		
II 研究活動			
本年度を含む過去5年間の研究業績			
〈著書〉（分担執筆）			
<p>(1) 『ふくやまスポーツ史 上巻』（福山スポーツ史編纂委員会編），第三章第一節第一項 国民体育大会の概要と福山市参加選手の活躍：478-486，公益財団法人福山市体育協会，2013</p>			
〈論文〉			
<p>(1) U高専1年男子の飲酒に関する実態調査（共著），宇部工業高等専門学校研究報告，第59号，5-9，2013</p>			
<p>(2) 若者のスポーツ活動における熱中症予防の現状と予防教育の効果—とくに水分補給の観点からみて—（単著），尾道大学経済情報論集，第11巻，第2号，181-187，2011</p>			
<p>(3) 学校現場で活用できる自律神経機能検査法の検討—寒冷昇圧試験とODとの関連からみて—（共著），尾道大学経済情報論集，第10巻，第2号，57-64，2010</p>			

(4) 保健体育授業における心肺蘇生法実習の教育効果—大島商船高専防災教育プロジェクトチームの取り組み— (共著) : 大島商船高等専門学校紀要, 第43号, 65-69, 2010

(5) 寒冷昇圧試験における自律神経応答—心拍変動のパワースペクトルからみて— (共著), 宇部工業高等専門学校研究報告, 第56号, 31-34, 2010

(6) 子どもの自律神経機能に関する調査研究—中国・雲南省における山岳少数民族の血圧調節機能— (共著), 宇部工業高等専門学校研究報告, 第55号, 17-23, 2009

(7) 高専生の性意識・性行動に関する調査研究 (第2報) —本校1年生における最近4年間の現状から— (共著), 宇部工業高等専門学校研究報告, 第54号, 97-101, 2008

(8) 防衛体力の測定評価に関する基礎的研究—「体位血圧反射」の測定時間帯についての検討— (単著), 宇部工業高等専門学校研究報告, 第54号, 79-85, 2008

〈学会発表〉

(1) 心肺蘇生法実習の教育効果に関する意識調査 (第2報) (共同) : 第59回日本学校保健学会, 於神戸国際会議場, 2012

(2) 若者の飲酒経験についての実態調査—U高専1年生の現状から— (共同) : 第58回日本学校保健学会, 於名古屋大学, 2011

(3) 最近のFIFAワールドカップ3大会のゴールキーパーのシュート対応の変化 (共同) : 日本体育学会第62回大会, 於鹿屋体育大学, 2011

(4) FIFAワールドカップのゴールキーパーのプレー内容の変化—1990年以降の5大会から2002年Korea/Japan大会と2006年ドイツ大会の比較を中心に— (共同) : 日本フットボール学会8th Congress, 於立教大学, 2010

(5) スポーツ活動時の熱中症予防の現状と教育効果—U高専1年生の調査から— (共同) : 第57回日本学校保健学会, 於女子栄養大学, 2010

(6) 心肺蘇生法実習の教育効果に関する意識調査 (共同) : 第57回日本学校保健学会, 於女子栄養大学, 2010.

(7) FIFAワールドカップのゴールキーパーのシュート対応の変化—2002年Korea/Japan大会と2006年ドイツ大会の比較から— (共同) : 日本体育学会第61回大会, 於中京大学, 2010

(8) 寒冷昇圧試験における循環応答（共同）：第56回日本学校保健学会，於沖縄県立看護大学，2009

(9) 心肺蘇生法に関する意識の現状と実習効果（第2法）（共同）：第56回日本学校保健学会，於沖縄県立看護大学，2009

(10) 寒冷昇圧試験における自律神経応答（共同）：第55回日本学校保健学会，於愛知学院大学，2008

(11) 若者の性意識・性行動に関する調査（第2報）—U高専5年生のアンケート結果から—（共同）：第55回日本学校保健学会，於愛知学院大学，2008

(12) 心肺蘇生法に関する意識の現状と実習効果（共同）：第55回日本学校保健学会，於愛知学院大学，2008

(13) 寒冷刺激における循環応答とODとの関連（共同）：第6回日本発育発達学会，於九州共立大学，2008

現在の研究テーマ（3つまで）

(1) 子どもの発育発達

(2) 学校・地域における健康づくり

(3) サッカーの科学研究

研究テーマの
進捗状況

上記(1)(2)については、現在、研究データ・資料を収集中である。(3)については、経済情報論集(第13巻1号)に掲載予定である。

学会、所属団体における活動

所属学会・所属団体 役職等

日本体育学会、日本学校保健学会、日本発育発達学会、日本フットボール学会 ほか

Ⅲ 社会活動	
1. 学外活動	
(1) エフエムおのみち, 出演, 子どものからだ・体力の現状について, 2012.5.2	
(2) 尾道市立大学教養講座, 講師, 知っておきたい子どものからだ・体力, 於しまなみ交流館, 2012.6.6	
(3) サイクリングガイド養成講座, 講師, スポーツ生理学, 於広島県立瀬戸田高等学校, 国土交通省 瀬戸内しまなみ海道地域観光圏事業, 2012.7.7	
(4) エフエムおのみち, 出演, 子どもの防衛体力について, 2012.10.16	
(5) 第30回おのみち市民健康まつり, 体力相談, 於尾道市総合福祉センター, 尾道市・尾道市公衆衛生推進協議会, 2012.11.11	
(6) ころばぬ先の健康講座(1), 講師, 高齢者の行動体力, 於尾道市総合福祉センター, 尾道市公衆衛生推進協議会, 2013.2.13	
(7) ころばぬ先の健康講座(2), 講師, 高齢者の防衛体力, 於尾道市総合福祉センター, 尾道市公衆衛生推進協議会, 2013.2.20	
2. 委員会及び協議会委員	
(1) 尾道市関係	
尾道市公務災害補償等認定委員会委員	尾道市体育協会副会長
尾道市体育協会法人化等検討委員会委員	尾道市スポーツ少年団副本部長
(2) 尾道市以外	
中国大学サッカー連盟理事	広島県学生サッカー連盟顧問